

| 福島市教育委員会定例会会議録 |   |
|----------------|---|
| 1 場 所          | 福島市役所 7階 701会議室   |
| 2 日 時          | 令和5年8月2日 午前9時00分  |
| 3 出席者          | 教育長 佐藤秀美 教育長職務代理者 渡邊慎太郎 委員 篠木雄司<br>委員 高谷理恵子 委員 立花由里子  |
| 4 欠席した委員       |   |
| 5 説明のため出席した職員  | 教育部長 三浦裕治 教育部次長兼教育総務課長 長南敏広<br>学校教育課長 穂積 浩 教育施設管理課長 小関 浩<br>教育研修課長 柏谷智也 生涯学習課長 遠藤 彰<br>中央学習センター館長 加藤享司 図書館長 安藤 勝章 |
| 6 議事内容及び経過     | (1) 開 会 午前9時00分<br>(2) 日 程 本日1日間<br>(3) 署名人の決定 委員 渡邊慎太郎<br>委員 高谷理恵子<br>(4) 記録係 教育総務課課長補佐兼庶務係長 神野秀樹                |
|                |   |
|                |   |

|          |  |
|----------|--|
| 1 議事     |  |
|          | 会議冒頭、議案第25号 令和5年度福島市教育功労者表彰については、個人情報等を含むことから非公開とする。また、議案第26号 令和6年度使用教科用図書採択については、定例教育委員会終了後の福島市教科用図書選定会議での審議結果をもって教育委員会での議決とさせていただき、他者からの一切の働きかけがないよう非公開とすることについて確認、全員の承認を得る。 |
|          | 議案第27号 教育財産の廃止について   |
|          | 教育施設管理課長（教育委員会定例会提出事項 P3により説明）   |
| 渡邊委員     | 建物は工場として使用すると思うが、校庭はさらに建物を建てるのか、駐車場として使用するのか。  |
| 教育施設管理課長 | 駐車場として利用すると聞いている。  |
| 教育長      | 異議ないため本議案を原案のとおり承認する。  |
| 2 その他    |  |
|          | ・令和4年度の教育事務点検評価について（案）   |
|          | 学校教育課長ほか（教育委員会定例会提出事項 別冊、基本方針1「夢と志を持ち、可能性に挑戦するふくしまっ子の育成」に係る11の成果指標の外部有識者会議の評価を踏まえた今後の方向性について説明）  |
| 渡邊委員     | 2 確かな学力の育成 成果指標2の「楽しいから・好きだから」勉強する児童生徒の割合の点で、ふくしま学力調査の調査項目が無くなったが、別途アンケートを実施予定ということで、非常に   |

|        |  |
|--------|--|
|        | 素晴らしいと思う。タブレットもあるため、現にふくしまっ子未来トークで全生徒のアンケートが実施できている。この項目だけでも児童生徒を対象にアンケートを実施して指標化することができれば、例えば他の項目でも必要に応じて選択肢に入ってくると思うため、ぜひ今年度実施していただきその結果を伺いたい。   |
| 学校教育課長 | 1月期末にアンケートを実施したところである。ただし、令和5年度にとった指標であるため、令和4年度の指標がない状況である。担当がG o o g l eでアンケートを取ったが簡単に集計できるため、年度末にアンケートを実施したいと思う。さらに、この質問だけではなく計画的に実施していきたい。   |
| 篠木委員   | 子どもの教育では、既存のことを教えるだけではなく、新しいことにぶつかった時に、その中で様々なことを経験して考える中で、ブレイクスルーを見つけていく、苦しみまでの知恵というものが社会に出た際に一番大切になってくるのではないかと思う。<br>また、8ページの学校給食について、7月に大館へ視察に行ったことを思い出した。学校給食とは異なるかもしれないが、都会でも田舎でも全国一律の同じ教育をしていると、その結果、人が都会の東京を目指して外に出ていくような形になった。その中で、地元ならではの教育として、地元の歴史や産業も含めたことを教えることにより、少し変化してきたという部分は、全国一律ではなくても特に給食なども特化して自慢できる給食になるといいと思った。 |
| 立花委員   | 大館市の視察で、私たちが見た小学校のICTの活用が余りにも  |

|      |  |
|------|--|
|      | <p>進んでいて素晴らしかった。先ほど I C T の活用場面で、先生方がどのような場面で使えばよいか、まだまだ福島は課題があるという説明であったが、せっかく県外など色々な学校を視察しているので、そのようなところで見聞きしたものというのは、お知らせするというだけではなく、本当に共有していただきたい。</p> <p>共有する方法はどのようにすればいいのかということもあるが、私としてはかなりカルチャーショックであった。I C T の使い方というのは福島市の学校も見したが、まだまだ差があると率直に感じた。せっかく見てきたものを福島市に還元できるようにしていただきたいと思う。</p>  |
| 高谷委員 | <p>私たちが見せていただいた大館市の視察先の学校がとてもよかった。授業での I C T の使いどころのポイントを絞っており、シェアするところは使うが、話をするところは使わないなど、十分に使い込んでおり、それを使用していたのが国語だった。理科や社会というのは分かるが、I C T を使う側から、自信を持って国語で使うことに意味があるとおっしゃっており、とても素晴らしい目を引く使い方であった。</p> <p>また、7 ページの肥満の話について、毎年この資料を見せてもらっているが、本当に難しいと思っている。福島は桃をはじめ、美味しいものがあるため、食べれば食べるほど糖質を取ってしまう。普通に食べていたら、太るというのは当たり前のことではないかと思い始めた。資料を見ると、肥満は必ずしも運動と連動しないということは分かってきたため、食が大きいと思う。福島の文化</p> |

|        |   |
|--------|---|
|        | と直結しているようであり、個人の努力の範囲ではない気がしている。これまでの履歴を見て、今後の方向性でも、養護教諭の先生や肥満指導、食生活というところが、キーワードになっているため、食なのだろうと思っている。大変だと思うが可能であれば、お子さん達が何を食べているのかのような調査を実施するのはどうかと思っている。また、これを食べないでくださいではなく、福島の土地にあった体にいい特産のこれを食べよう、糖質を上げずに体にいい肥満を抑制する特産品のようなものを探せないかとも思っている。すぐにできる話ではないが、肥満はこれからも課題になってくる。給食等も絡めながら、太らない、糖質が上がらない、安心して果物が食べられる食文化の提唱のようなものを把握してもらえるととてもいいと思う。 |
| 学校教育課長 | 以前、篠木委員からも可能ではないかという意見をいただいたことがあるが、おっしゃるとおりだと思う。学校の給食も一つの教材であり、それを使用しながら子どもたちにその食に関する指導、さらにご家庭との連携も大事になってくる。これまでも実施していたが、養護教諭などが中心となって個別に指導していくということ、さらに栄養教諭というスペシャリストがいるため、食の指導充実を図っていく。   |
| 篠木委員   | 今の貧困は太るといふか肥満になるという。それは一番安い食材がスナック麺などのようなものなので、貧困と肥満が連動するという話を聞いた。やはり何を食べているかという部分は大切だと思う。  |

|        |                                     |
|--------|-------------------------------------|
|        | 教育研修課長ほか（基本方針2「ふくしまっ子の健やかな成長と学びを支える |
|        | 環境の整備」に係る3つの成果指標の外部有識者会議の評価を踏       |
|        | まえた今後の方向性について説明)                    |
|        |                                     |
|        | 生涯学習課長ほか（基本方針3「人・つながり・地域を共に創る生涯学習の推 |
|        | 進」に係る5つの成果指標の外部有識者会議の評価を踏まえた今       |
|        | 後の方向性について説明)                        |
| 高谷委員   | P18の学校支援ボランティアに対するアンケートの「自己有用       |
|        | 感が十分」の基準値は、実績値が基準値となっているのか。この       |
|        | 割合の母体が実際活動できた人の割合なのか、活動できていなか       |
|        | ったからこそ、上手く役に立っている気がしないという人も入っ       |
|        | ているのか。                              |
| 生涯学習課長 | 基準値については、令和元年度のボランティアに携わっている        |
|        | 方々が、自分の期待値として十分だと感じている数値を基準値と       |
|        | して、42%ということで設定している。それに対して、結局は       |
|        | コロナ禍で児童生徒の皆さんもマスクをしていて、本当に自分で       |
|        | 期待したものが伝わっているかよく分からないといったこともあ       |
|        | り、ボランティアの方自体、反応が感じにくかったことによつて       |
|        | のとまどいがあった。また、そのアンケートの中では、急に依頼       |
|        | されたということで、なかなか進め方がうまくいかなかったこと       |
|        | により、自己有用感があまり高くなかったということだった。依       |
|        | 頼する日程を見ると、1ヶ月以内にはしているが、それでも期間       |
|        | が短いという回答だったため、改めて検討していきたい。          |

|      |   |
|------|---|
| 高谷委員 | 自分が十分に役に立っていると本人からはあまりイエスとは言いにくいため、聞き方の問題があるかと思ったが、令和元年の実測値ということで、そのような心配はないのかと思う。2つ目に関しては、実際にボランティアに行かれた方の反応が落ちているということで、マスク越しに表情が読み取れなかったということが、コロナ禍で落ちているという意味では、確かに影響するのと思うが、裏を返せば、これまでのボランティアに行っていたいただいた方のフィードバックが、子どもの表情からしか獲られていなかったということでもあり、それはそれで危なさがある。表情を読み取って、満足していただけるのはとてもありがたいが、それではボランティアの方の力量に依存している。活動をしていただいたからには、表情以外の形で子どもたちがどのようなことを学んだのか、どのようによかったと思うのか、フィードバックするループが無ければ、ボランティアだからこそ苦しくなる。今回コロナ禍があり気がついたことのような気がするため、表情だけではない、マスクをしていても意思の疎通がとれるような形のフィードバックを返せる仕組みづくりも、ぜひ検討していただけたらと思う。 |
| 渡邊委員 | P 1 9 ページのオンラインによる学級・講座数について、外部有識者会議からいただいた評価で、オンデマンド型講座もオンライン講座の一種であろうというのはそのとおりであると思う。前回の説明でも、できるだけ広い意味でのオンラインについては、トライしていくということだと思うが、その際にオンラインで参加  |

|        |   |
|--------|---|
|        | <p>されている方は、どのような方が多いのかについて、その後どのように活動をしていくかの判断の資料になるかと思う。どのような講座というよりは、もしかしたら時間帯や曜日の設定なのかもしれないが、こういった設定に対してこういった社会人なのか、あるいはもう退職された方なのか、あるいは学生など、どのような層の方が参加されているのか分かったほうが、その後どのような方向のものがニーズとしてあるのかを判断しやすいと思うため、その点を着目して進めていただきたい。</p> |
| 生涯学習課長 | <p>今回、オンラインとして開催したものが、福島エール川柳事業などについて、Zoomを使って行ったものである。教室と教室を繋いで人数制限がある関係で、使い方そのものを変えていくような形で、もう少し利用数を増やしていけるような事業を検討していきたい。</p>  |
| 教育長    | <p>ぜひそのようなところを調査しながら、ターゲットを絞って効果的に事業実施ができるようにしていきたいと思う。</p>   |
|        |   |
|        | ・今後の日程について  |
|        | 教育総務課長（教育委員会定例会提出事項 P5により説明）  |
|        | ① 次回の定例会の開催について   |
|        | 令和5年8月30日（水）午前9時00分から市役所9階903会議室  |
|        | 終了後に協議会を開催。終了後に福島市総合教育センターの施設見学を実施。   |
|        | ② 今後の主な行事予定について   |
|        | 教育長・教育委員の出席が予定されている事業を周知。   |



|  |
|--|
| ③ 今後の定例会の開催について  |
| 10月定例会は10月4日（水）午前10時00分から市役所9階903会議室で開催予定。                     |
| 午前10時2分休議。   |
| 午前10時36分再開。以下、非公開。   |
| 3 非公開議案審査結果  |
| 議案第25号 令和5年度福島市教育功労者表彰について【原案のとおり承認】                           |
| 議案第26号 令和6年度使用教科用図書採択について                                      |
| 教育長 定例教育委員会終了後に開催する、福島市教科用図書選定会議での審議結果をもって教育委員会での議決とさせていただきます。 |
| 以上終了 午前10時40分  |
| 記 録 神野 秀樹  |
| 委 員  |
| 委 員  |
| ※福島市教科用図書選定会議【原案のとおり承認】  |